

第 47 期定時株主総会議事録

2008 年 11 月 27 日 10 時

株式会社ファーストリテイリング 山口本社

司会： 大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、社長お願いいたします。

議長： 皆様、おはようございます。本日はご多忙のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。私が代表取締役会長兼社長の柳井 正でございます。当社定款第 15 条の定めによりまして、私が本総会の議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。それでは、ただいまから第 47 期定時株主総会を開会いたします。本日の議事にあたりましては、円滑に進行できますよう議長である私の指示に従っていただきたく、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。また、ご質問につきましては報告事項の報告が終了した後にお受けしたいと存じますのでよろしくご協力のほど お願い申し上げます。それでは、本総会において議決権を行使される株主数、およびその議決権の個数につきまして事務局からご報告申し上げます。

司会： ご報告申し上げます。本総会におきまして、議決権を行使できる株主数は 6,150 名、その議決権の個数は 1,018,162 個でございます。そのうち、現時点で、ご出席いただいている株主数は、議決権行使書をご提出いただいている方を含めまして 1,328 名その議決権の個数は 820,593 個でございます。以上ご報告申し上げます。

議長： ただ今、ご報告申し上げました議決権の個数は、本日の議案をご審議いただくのに必要な定足数を満たしていることを、ご報告申し上げます。それでは、報告事項の報告、および議案の審議に先立ちまして、監査役より監査役会の監査報告をお願いいたします。

監査役： 常勤監査役の田中 明でございます。各監査役の合意により、私が監査役会を代表してご報告申し上げます。当社の監査役会は、第 47 期事業年度における監査の方法、および結果につきまして、各監査役から報告を受け協議いたしました。その結果につきましては、お手許の株主総会招集通知の 37 ページ「監査役会の監査報告書謄本」に記載している通り、会計監査人である新日本有限責任監査法人の監査方法、および結果は相当であり、計算書類、および附属明細書、ならびに連結計算書類につきましても、指摘すべき事項はございません。また、会計監査人の職務の遂行が適正に実施されることを確保するための体制については、指摘すべき事項はございません。更に、取締役の職務の執行に関しましては、子会社に関する職務を含め、不正の行為または、法令もしくは定款に違反する重大な事実認められませんでした。

なお、各監査役は 本総会付議の議案、および書類につきましても調査いたしましたが、その結果法令もしくは定款に違反する事実、または不当な事実は認められませんでした。

以上ご報告申し上げます。

議長： それでは第 47 期、すなわち平成 19 年 9 月 1 日から平成 20 年 8 月 31 日までの事業報告、連結

貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、貸借対照表、損益計算書、および株主資本等変動計算書の内容について、その概要をご報告申し上げます。

なお、事業報告はお手許の招集通知の2ページから18ページに記載の通りでございます。取締役の松下より、その概略についてご報告申し上げます。

松下取締役：取締役の松下 正でございます。議長の指名により私よりご報告申し上げます。当連結会計年度におけるわが国の経済は、原油に代表される原材料価格の高騰、急激な円高、米国におけるサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱等により、景気の停滞感が増しております。アパレル小売業界におきましては、国内外での競争環境の激化や、ガソリン・食料品等の値上げによる消費者の選別消費志向が強まったこともあり、依然として厳しい状況が続いております。

国内ユニクロ事業におきましては、シーズンごとのキャンペーン等の販促活動が功を奏し、ヒートテック、プリントTシャツ、ドライ商品、プラトップ等の人気商品の売上が好調であったこと等により、売上高は前連結会計年度を上回る結果となりました。また、値引き販売のコントロールを強化したことや、各シーズンにおける商売の早めの立ち上げに成功したこと等により、売上高総利益率も大幅に改善しております。

その結果、国内ユニクロ事業の業績は、売上高 4,623 億円、前連結会計年度比 8.9%増となり、大幅な増収増益を達成しております。なお、当連結会計年度は新たに直営店 56 店舗を出店、46 店舗を閉店し、当連結会計年度末店舗数は直営店 740 店舗となりました。

海外ユニクロ事業におきましては、通期で初めて営業損益が黒字となりました。米国ではニューヨークグローバル旗艦店の業績が順調に推移し、赤字幅を大幅に縮小しております。英国では平成 19 年 11 月にロンドンオックスフォードストリートにヨーロッパ初となるグローバル旗艦店をオープンし、ブランドポジションの確立を目指しております。フランスでは平成 19 年 12 月にパリ近郊のラ・デファンス地区にフランス 1 号店となるコンセプトショップをオープンしました。また、中国、香港、韓国では積極的に出店を進めており、それぞれの地域において売上高、営業利益ともに前連結会計年度を上回り、順調に業績を拡大しております。

その他の国内事業におきましては、婦人服専門店を展開するキャビンは、経営構造の抜本的な改革を推進し、コスト削減や売上高総利益率の改善等により、営業黒字を達成しました。また、カジュアルウェアブランドを展開するジーユー、靴小売専門店を展開するワンゾーン、婦人靴小売専門店を展開するビューカンパニーにつきましては事業構造改革を進め、不採算店舗の閉店、コスト削減等を進めた結果、その他の国内事業全体としては赤字幅が縮小しております。

その他の海外事業におきましては、ヨーロッパを中心に婦人服ブランドを展開するコントワー・デ・コトニエ事業と、ランジェリーブランドを展開するプリンセス・タム・タム事業は、ヨーロッパの消費環境の悪化により成長率が鈍化しております。

以上の結果、当連結会計年度におきましては、連結売上高 5,864 億円前年度比 11.7%増、営業利益 874 億円、前年度比 34.7%増、経常利益 856 億円、前年度比 32.7%増、当期純利益 435 億円前年度

比 37.0%増と増収増益となりました。なお、当期の期末配当金につきましては、取締役会決議により1株につき65円とさせていただきました。

次に企業集団の対処すべき課題についてご報告いたします。対処すべき課題として、まず、挙げられるのは、ユニクロ事業のグローバル展開として、具体的には

- ・海外 特にアジアでの出店加速
- ・店舗展開のグローバル化に伴う生産のグローバル化
- ・ウィメンズ商品の強化
- ・大型店の効率化と出店加速
- ・グローバルマーチャンドライジングの構築
- ・グローバルマーケティングの構築 等でございます。

次に、国内関連事業の改革が挙げられます。平成20年9月1日に、株式会社ワンゾーン、株式会社ジーユー、株式会社ビューカンパニーの3社を統合し、株式会社G O Vリテイリングとして始動しました。ファーストリテイリング・ユニクロと機能を連動させる組織を再構築し、統合による経営の合理化を図るとともに、ブランドコンセプトの再構築を進めてまいります。

引き続きまして、お手許の招集通知19ページに記載の連結貸借対照表についてその概要をご説明申し上げます。資産合計は、4,047億円で前期比12.5%増加しております。この内訳は、流動資産が2,636億円で前期比21.0%増加し、固定資産につきましては1,410億円で前期比0.5%減少しております。次に負債合計は、1,407億円で前期比20.8%増加しております。この内訳は流動負債が1,185億円で前期比31.0%増加し、固定負債につきましては221億円で前期比14.7%減少しております。次に純資産合計は2,640億円で前期比8.5%増加しております。

引き続きまして、招集通知20ページに記載の連結損益計算書についてその概要をご説明申し上げます。先ほど申し上げましたとおり、売上高は5,864億円となり、前期と比べ、プラス612億円、11.7%の増加となりました。経常利益におきましては856億円となり、前期と比べ、プラス210億円、32.7%の増加となりました。また当期純利益は435億円で、前期と比べ、プラス117億円、37.0%の増加となりました。なお、連結株主資本等変動計算書につきましては、招集通知21ページに記載のとおりでございます。

続きまして、招集通知28ページに記載の貸借対照表につき、その概要をご説明申し上げます。資産合計は2,523億円で前期比11.1%増加しております。この内訳は、流動資産1,059億円で前期比26.6%増加し、固定資産につきましては1,464億円で前期比2.0%増加しております。次に負債合計は143億円で前期比454.5%増加しております。この内訳は流動負債が128億円で前期比511.7%増加し、固定負債につきましては14億円で前期比206.0%増加しております。次に純資産合計は2,380億円で前期比6.0%増加しております。

引き続きまして、招集通知29ページに記載の損益計算書についてその概要をご説明申し上げます。営業収益は510億円となり前期と比べ、マイナス1億円、0.4%の減少となりました。経常利益におきましては375億円となり、前期と比べ、マイナス48億円、11.4%の減少となりました。また、当期

純利益は274億円で、前期と比べ、マイナス86億円、23.9%の減少となりました。なお、株主資本等変動計算書につきましては、招集通知30ページに記載のとおりでございます。以上ご報告申し上げます。

議長： 以上をもちまして、第47期事業報告、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書について、その概要のご報告を終らせていただきます。

なお、ただいまご報告申し上げました連結計算書類につきまして、当社の会計監査人である新日本有限責任監査法人から、お手許の招集通知35ページに記載の「連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書謄本」の通り、その監査の方法、およびその結果の報告を受けております。また、当社の監査役会からの監査結果につきましては、先の監査報告のとおりでございますのであわせてご報告申し上げます。

それでは報告事項に関し、ただ今より、ご出席の株主様から、ご質問を受けたいと存じます。なお、ご質問の際は、挙手をしていただき、私から指名させていただきますので、指名を受けられた株主の方はご出席票の番号とお名前をお申し出の上、簡潔に要点だけをご質問下さい。

議長： ご質問はございませんでしょうか。

議長： ご質問がないようですので、引き続き議案の審議に入らせていただきます。

それでは、第1号議案『取締役5名選任の件』を付議いたします。本総会終結の時をもって、取締役5名は任期満了となるため、あらたに取締役5名の選任をお願いしたいと存じます。なお、取締役候補者は、お手許の招集通知38ページから44ページに記載のとおりでございますので、一括して取締役に選任することをお願いしたいと存じます。

議長： それでは本議案につき、よろしくご審議の上、ご承認をお願い申し上げます。まず、本議案に関しましてご質問はございませんでしょうか。

議長： ご質問がございませんので本議案のご承認をお願いしたいと存じます。本議案につきまして、ご異議ございませんでしょうか。

議長： ありがとうございます。議決権行使書によるご賛成と合わせ、賛成過半数と認めます。

よって、第1号議案『取締役5名選任の件』は原案通り承認、可決され、

柳井 正 (やない ただし)

松下 正 (まつした まさ)

半林 亨 (はんばやし とおる)

服部 暢達 (はっとり のぶみち)

村山 徹 (むらやま とおる) の各氏が取締役に選任されました。

議長： 引き続きまして、第2号議案『監査役2名選任の件』を付議いたします。本総会終結の時をもって、監査役2名は任期満了となるため、あらたに監査役2名の選任をお願いしたいと存じます。

つきましては、監査役候補者は、お手許の招集通知 45 ページから 47 ページに記載のとおりで
ございますので、一括して監査役に選任することをお願いしたいと存じます。
なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

それでは本議案につき、よろしくご審議の上、ご承認をお願い申し上げます。まず、本議案に関しまし
てご質問はございませんでしょうか。

議長： ご質問がございませんので本議案のご承認をお願いしたいと存じます。本議案につきまして、ご異議
ございませんでしょうか。

議長： ありがとうございます。議決権行使書によるご賛成と合わせ、賛成過半数と認めます。
よって、第 2 号議案『監査役 2 名選任の件』は原案通り承認、可決され、
安本 隆晴 （やすもと たかはる）
清水 紀彦 （しみず のりひこ） の各氏が監査役に選任されました。

議長： 以上をもちまして、本総会の会議の目的事項全てを終了いたしましたので、第 47 期定時株主総会
を、閉会させていただきます。株主の皆様には、ご多忙のところ、本総会にご出席下さいまして誠に
ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

司会： 株主の皆様、本日はありがとうございました。